

令和元年 9 月 9 日

小学 6 年生 保護者 様

多治見市教育研究所

平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果等について

小学 6 年生と中学 3 年生を対象としたみだしの調査が、4 月 18 日に実施されました。各学校におきましては、現在、調査結果の分析・検証を進めており、今後、自校の課題を踏まえた指導の改善に一層取り組んでいくところです。

つきましては、多治見市全体の調査結果等をお知らせしますので、お子さんの学習習慣や生活習慣を見つめ直す際の参考として活用いただきますようお願いいたします。

1 学力調査の結果より

調査を行った教科「国語、算数」の平均正答率については、国・県の値とほぼ同等です。

また、各調査結果から今後付けたい力として、以下のことを挙げる可以做到。

- | |
|---|
| <p>【国語】 語句の意味を伴って漢字を理解することや習った漢字を積極的に使って書き表すこと
相手意識や目的意識を明確にして、工夫して文書を書くこと</p> <p>【算数】 根拠を明確にして、式や言葉を用いて説明すること
計算をする際に、計算を能率的にするために工夫すること</p> |
|---|

ご家庭では、学校から配付される個人票を参考に、「できた問題とできなかった問題」また「なぜ間違えたか」などを具体的に話し合ってみてください。

また、明らかになった課題に対して今後努力することや気を付けていくことを、お子さん自身が決めるようなふり返りとなるようお声がけをお願いします。

2 質問紙調査の結果より

質問紙調査において国や県の傾向とは異なった結果（上下に 1 ポイント以上の差があった問い）から主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

<学習習慣>

- ・一日の学習時間は、国・県の結果とほぼ同等ですが、自分で計画を立てて勉強することができる傾向にあります。
- ・読書をする時間は国・県と同等ですが、学校や地域の図書館を積極的に利用する傾向にあります。
- ・勉強が大切だと思っていますが、授業で学んだことを普段の生活の中で活用しようと考えたりすることには若干の弱さがあります。

<生活習慣>

- ・将来の夢や目標をもっている割合は、国・県を下回っています。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に対する関心がやや低く、地域行事への参加は、県の結果を大きく下回っています。

本調査からも、家庭や学校での学習習慣・生活習慣が学力にも大きく関わっていることは明らかであり、『習慣』は、意識して努力を続けることにより必ず改善できます。

家庭と学校が協力し、子どもが望ましい習慣を身に付け、将来の自立や個性豊かな自己実現に向かっていくことができるよう、今後ご理解とご協力をお願いいたします。